

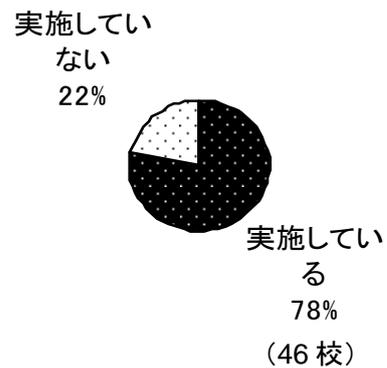
## 国家試験に関する各大学へのアンケート調査

- 「OSCE トライアルの実施等国家試験の改善にかかる研究」（平成 17 年度厚生労働科学研究 主任研究者 相川直樹）の中で実施
- 全ての大学医学部、医科大学（計 80 校）に調査票を郵送し郵送にて回収。
- 有効回答数 59 校（74%）

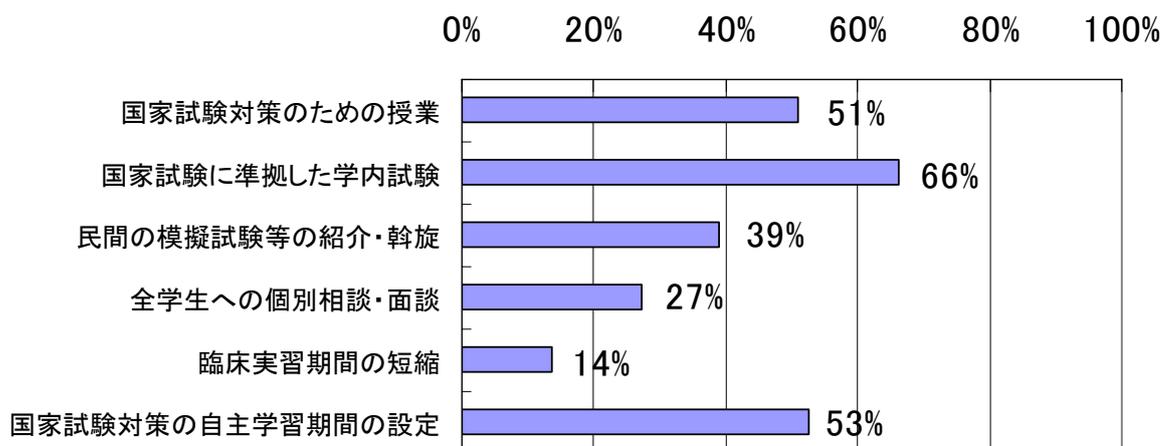
---

### 1. 大学による国家試験対策の実施について

○学生を対象とした国家試験対策を大学として実施していますか

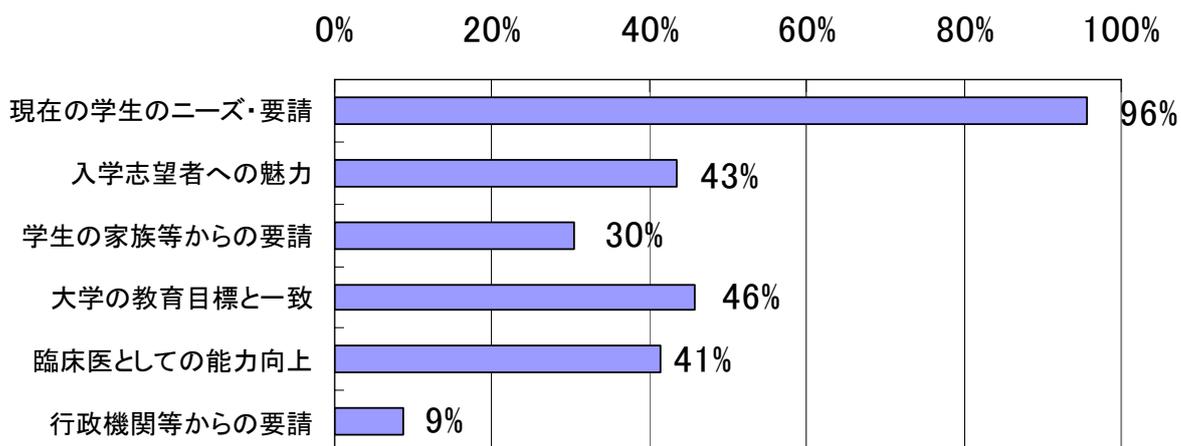


○どのような対策を実施していますか（複数解答、有効回答 59 校中の割合）

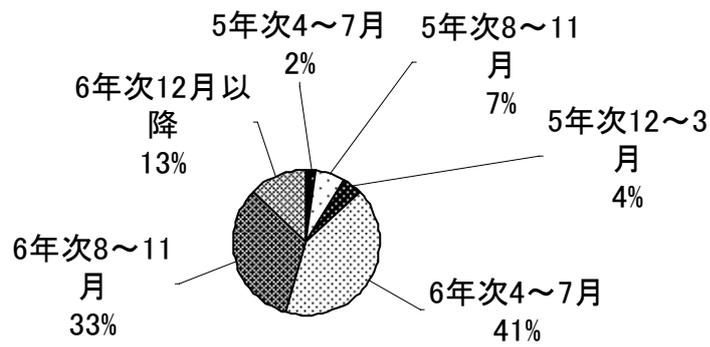


○ 実施している理由

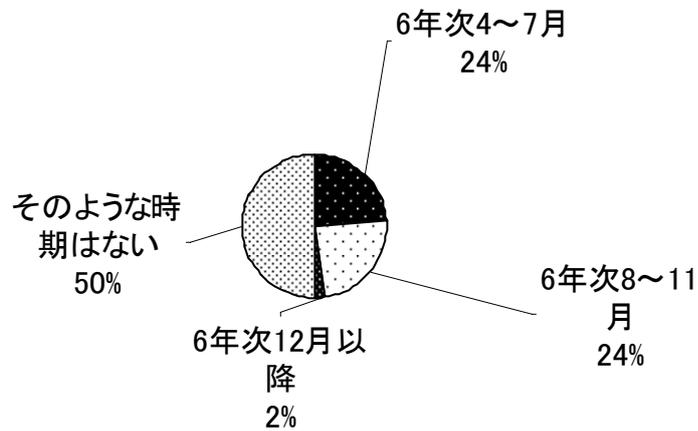
（「強く当てはまる」「やや当てはまる」の計、実施している 46 校中の割合）



○国家試験対策を開始する時期（実施している46校中の割合）



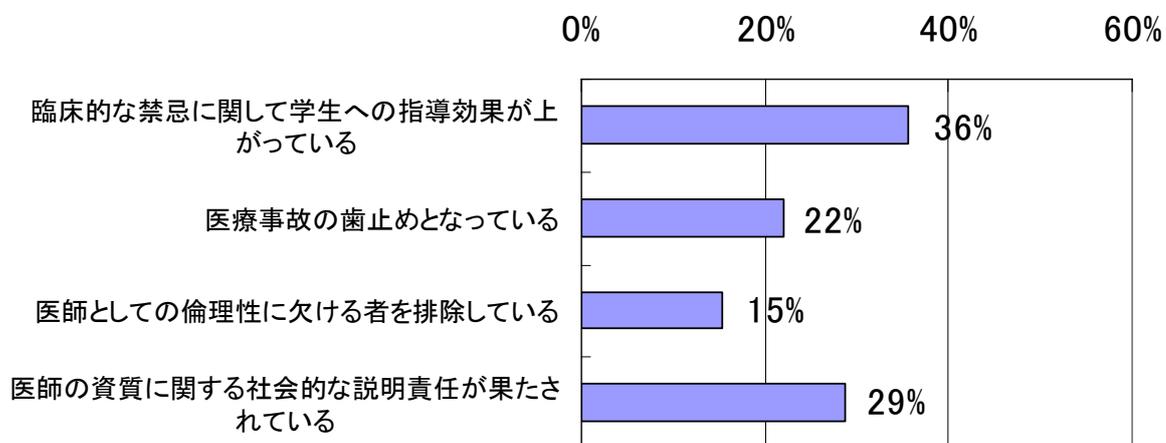
○国家試験対策がカリキュラムの過半となる時期（実施している46校中の割合）



## 2. 禁忌肢について

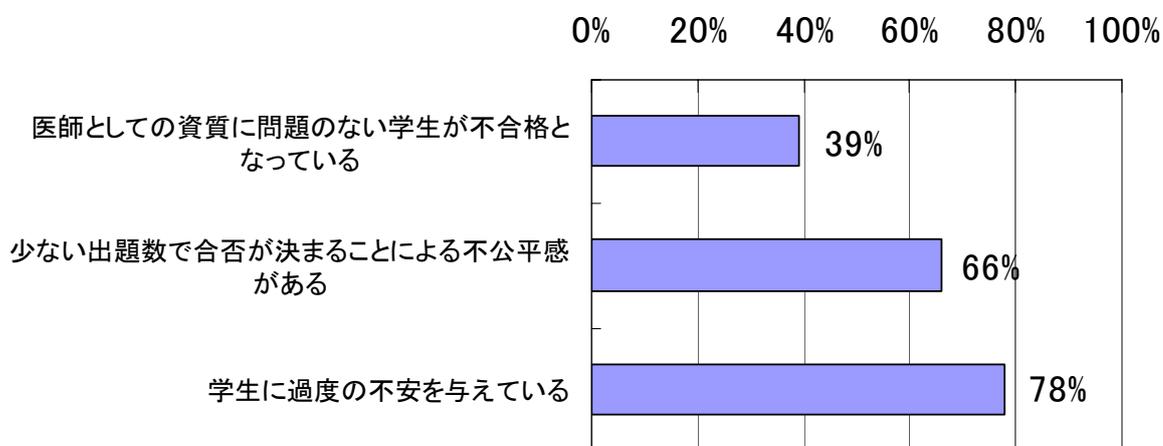
### ○ 禁忌肢の出題が果たしている効果

(「強く当てはまる」「やや当てはまる」の計、以下有効回答数 59 校中の割合)

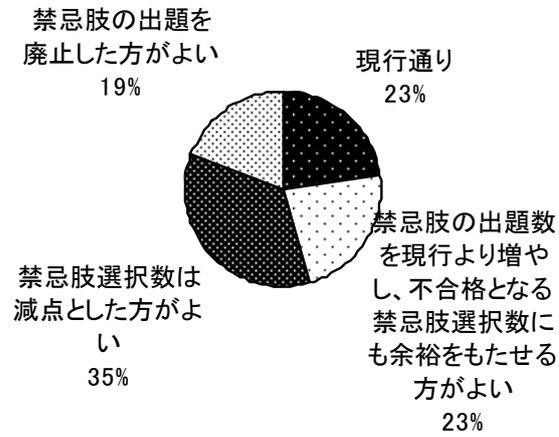


### ○ 禁忌肢出題の問題点について

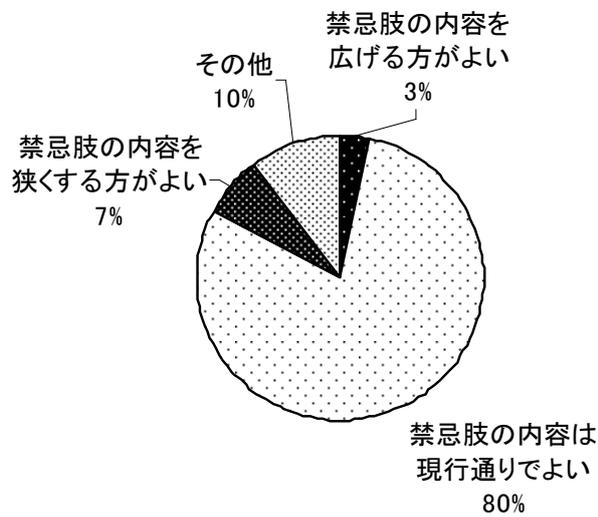
(「強く当てはまる」「やや当てはまる」の計)



### ○禁忌肢の出題について

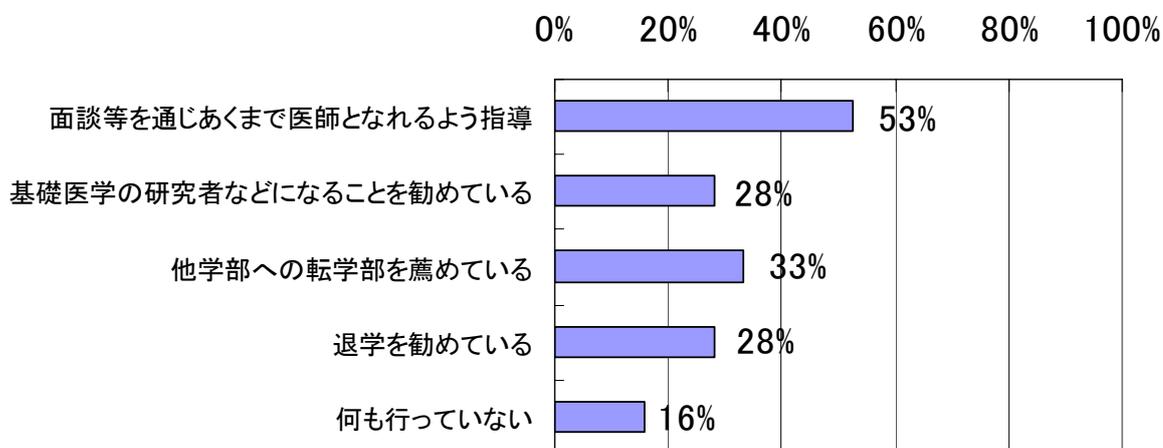


### ○禁忌肢の内容について

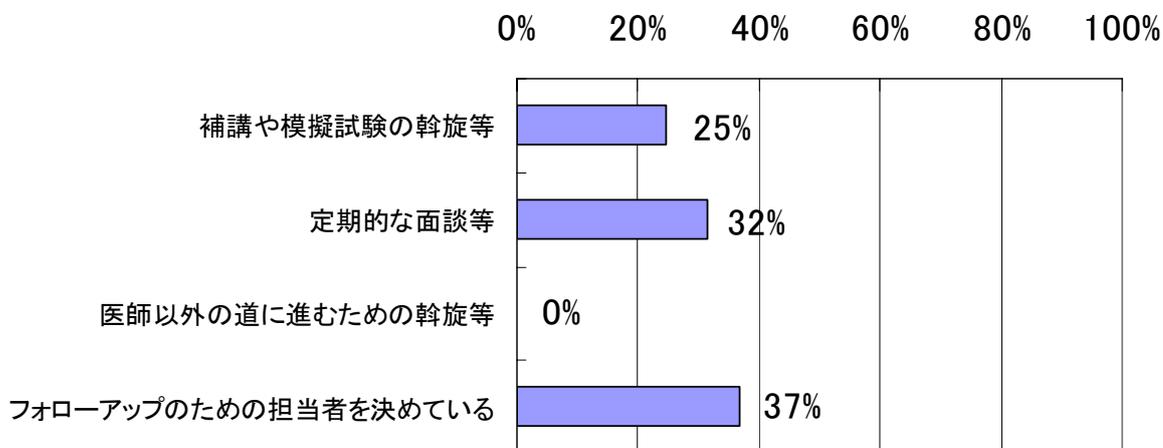


### 3. 受験回数の制限について

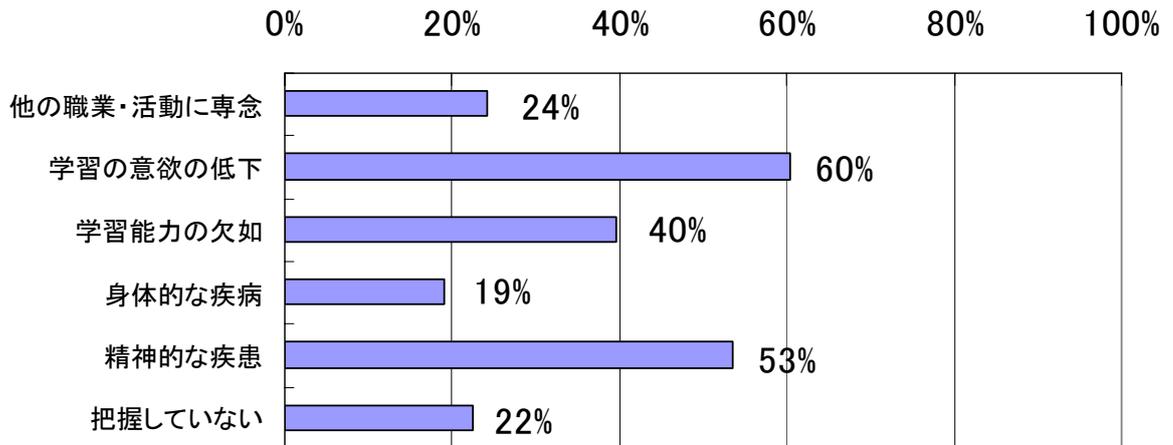
○ 医師としての資質に乏しい学生に対して、卒前に指導として行っていること  
(複数回答)



○ 卒後のいわゆる「多浪」(国試不合格者、受験しない者)に対して行っていること  
(複数解答)



○いわゆる「多浪」について、把握している原因（複数解答）



○ 仮に国家試験受験回数の制限が行われた場合、期待できる効果や予想される問題点について（「強く当てはまる」「やや当てはまる」の計）

